

RATOC VSPの使用方法について

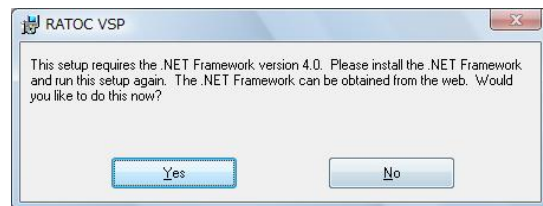
RATOC VSP(COMポートエミュレートドライバー)を使用すると、REX-WF60およびREX-ET60に割り当てられたIPアドレス/ポート番号を仮想COMポートへ割り当てることができます。

(1) RATOC VSP のインストール

RATOCVSP.msi を実行します。

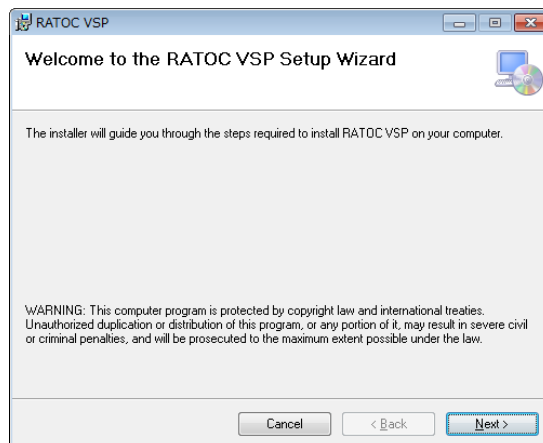
(環境によっては拡張子の「.msi」が表示されない場合があります。)

「.NET Framework version 4.0」がインストールされていない環境では、右の画面が表示されますので「Yes」をクリックし、ダウンロード・インストールを行います。



「.NET Framework version 4.0」がインストールされている場合は、以下の手順に従い RATOC VSP のインストールを行います。

「Next」をクリックします。



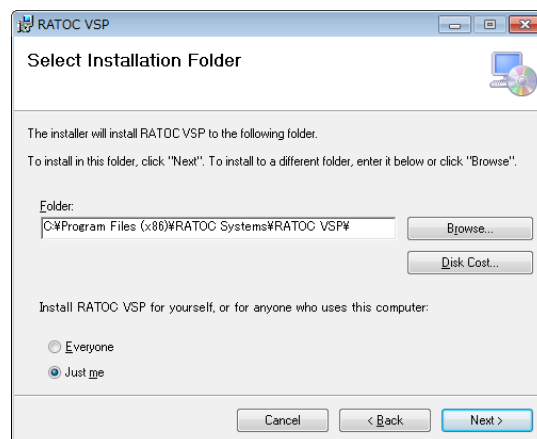
「I Agree」を選択し「Next」をクリックします。



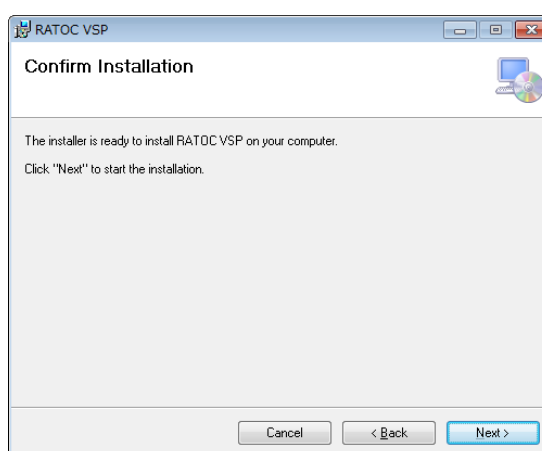
インストール先を選択し「Next」をクリックします。

[Everyone] -- この PC を使用しているすべてのユーザーが使用する場合。

[Just me] -- 現在使用中のユーザーのみ使用する場合。



「Next」をクリックします。

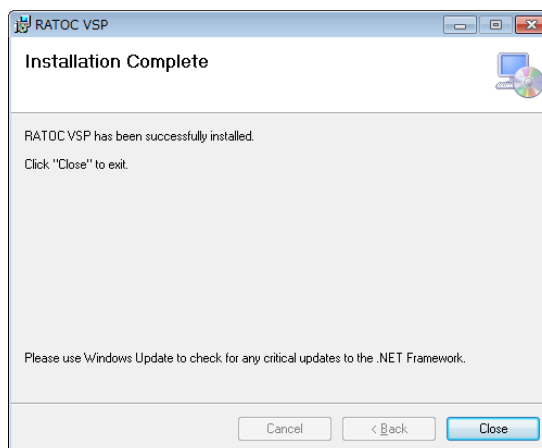


ユーザーアカウント制御の画面が表示される場合は「はい」をクリックします。



以上でインストールは完了です。

「Close」をクリックします。



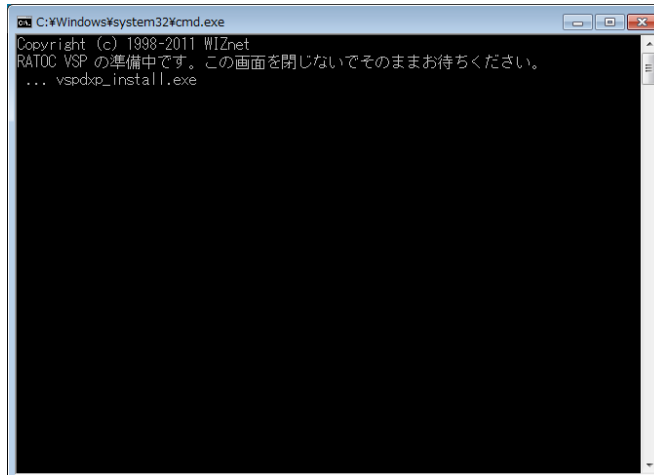
(2) COMポートへの割り当て

RATOC VSP を起動します。

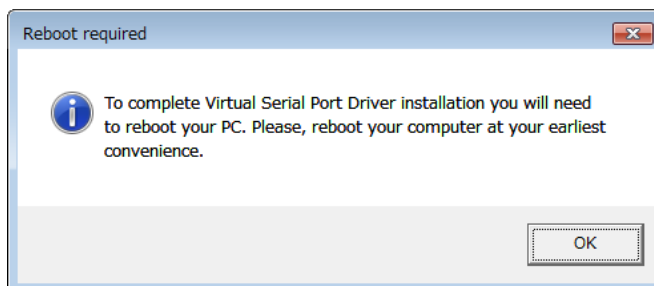
「ユーザーアカウント制御」の画面が表示される場合は「はい」をクリックします。



初回起動時はコマンドプロンプト画面が表示されますが、RATOC VSP が起動するまで、そのまま待ちます。



右画面が表示される場合は、OS を再起動します。



【COMポートへ割り当てる手順】

製品の IP アドレスを自動で検索する方法と、手動で入力する方法があります。

1. 対象となる製品にチェックを入れます。

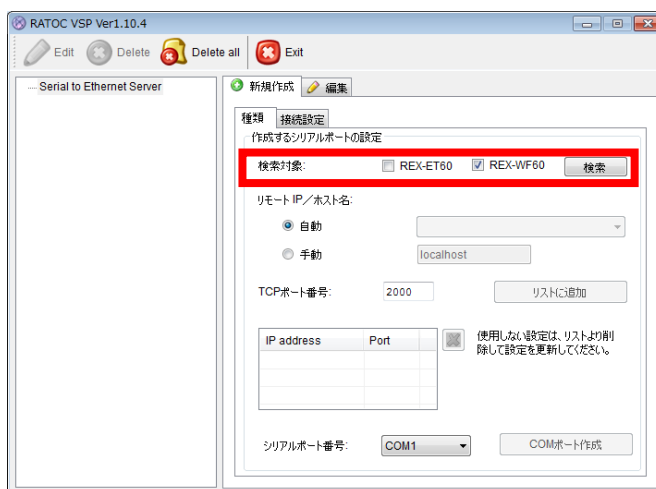
[TCP ポート番号]には自動的に対応した番号が入力されます。

REX-ET60 : 「5000」

REX-WF60 : 「2000」

【自動で検索する場合】

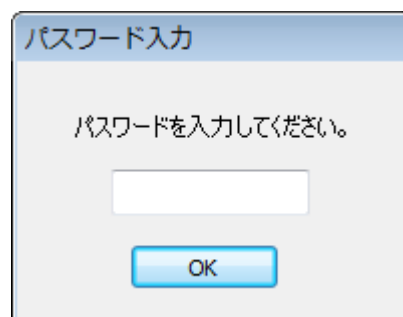
[自動]を選択し「検索」をクリックします。



REX-ET60 を選択した場合は、検索用パスワードの入力が必要です。

デフォルトでは「ratoc」となります。

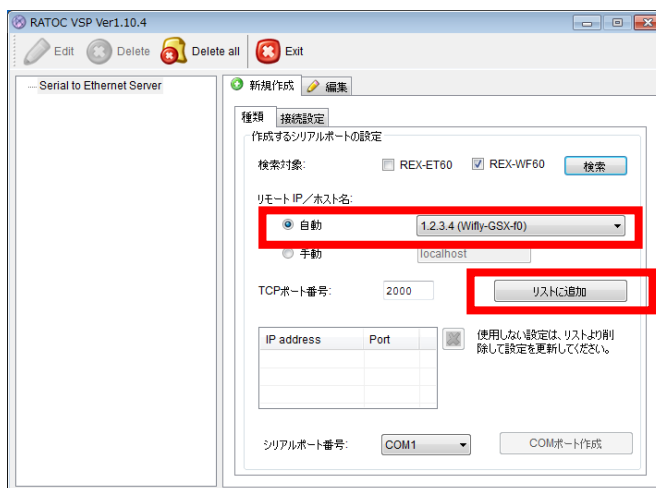
(パスワードの変更方法については、REX-ET60 のマニュアルをご参照ください。)



検出されると、[リモート IP/ホスト名]に製品の IP アドレスが表示されますので、「リストに追加」をクリックします。

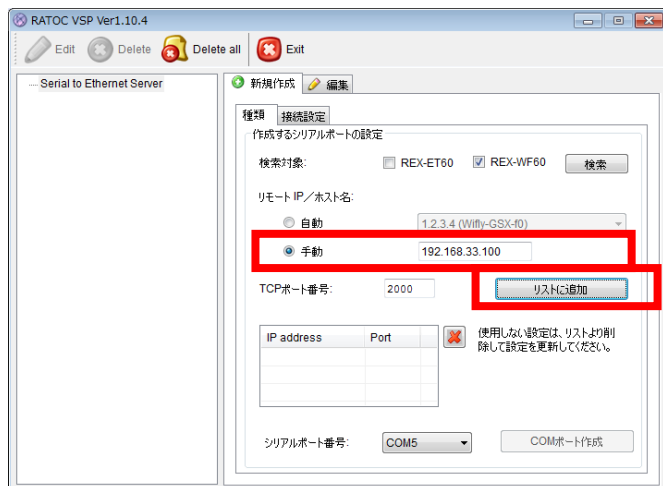
※ [自動]では4台までの検索となります。

同一ネットワーク上に5台以上接続している場合については巻末の「Appendix」をご参照ください。

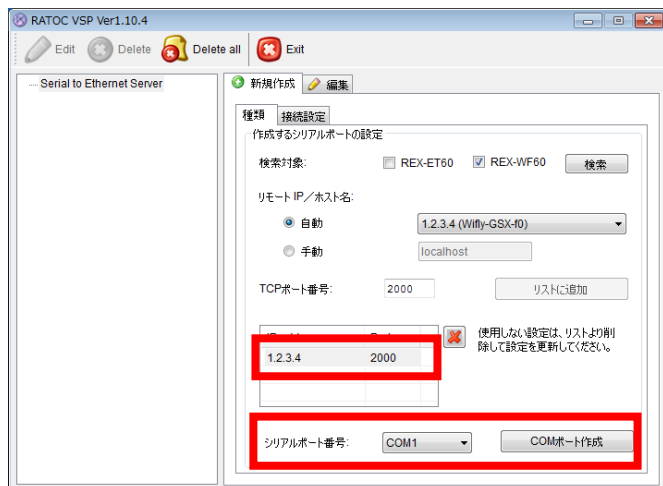


【手動で入力する場合】

[手動]を選択し、あらかじめ確認しておいた製品の IP アドレスを入力し「リストに追加」をクリックします。

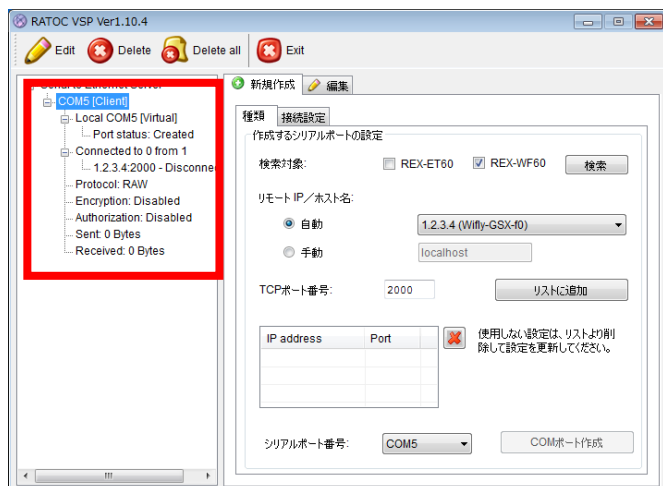


2. [シリアルポート番号]を選択し「COM ポート作成」をクリックします。

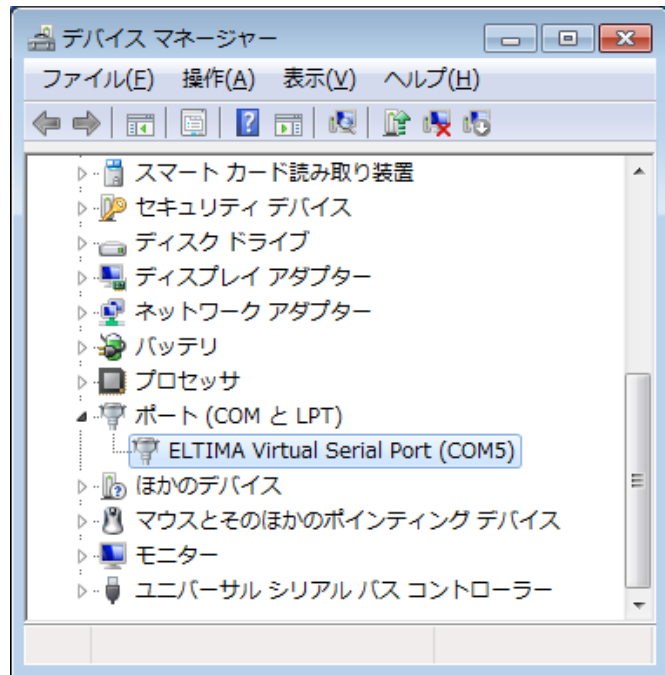


3. RATOC VSP の左欄に仮想 COM ポートの情報が追加されます。

※ 本製品の IP アドレスを DHCP サーバーより動的に割り当てている場合、IP アドレスが変更されることがあります。IP アドレスが変更されている場合は、「(3) 設定の編集」をご参考に再設定を行ってください。

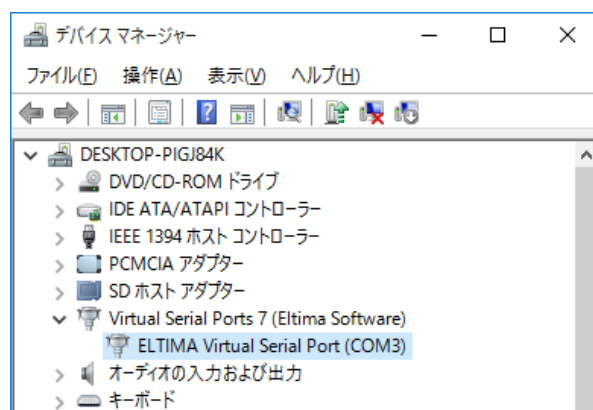


仮想 COM ポートが追加されると、
デバイスマネージャの
[ポート(COM と LPT)]に
[ELTIMA Virtual Serial Port
(COMxx)]が追加されます。



[ポート(COM と LPT)]に追加され
ていない場合

[Virtual Serial Ports 7 (Eltima
Software)]の下に追加される場合も
同様にご使用いただけます。

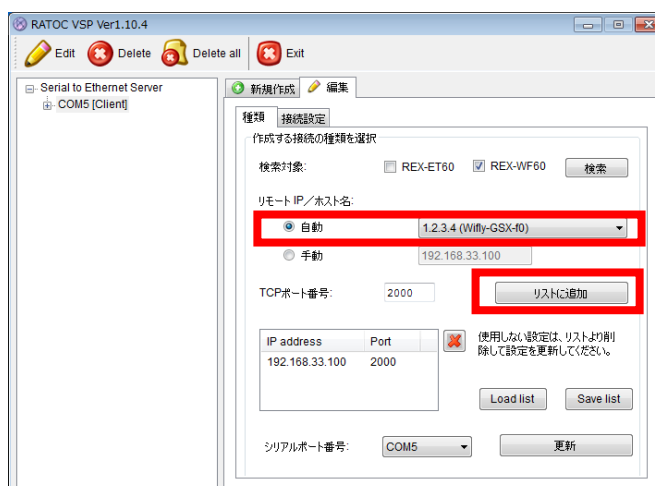


(3) 設定の編集

作成済み設定の[リモート IP/ホスト名] [シリアルポート番号]を変更することができます。

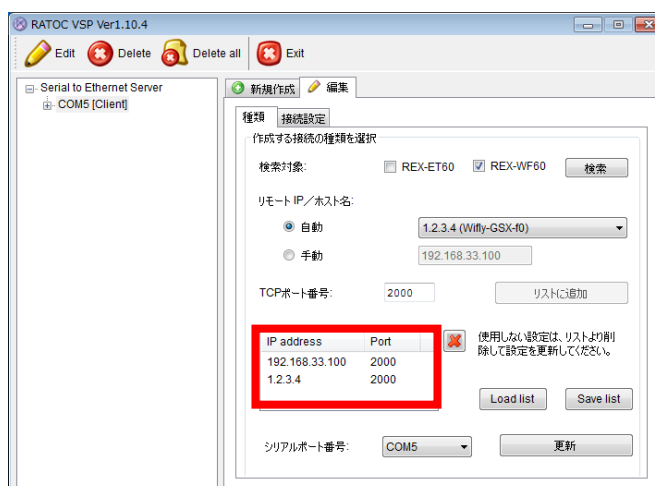
1. [編集]タブをクリックし、
「(2) COM ポートの割り当て」と同様に製品を検索します。

検出された製品を選択、[TCP ポート番号]を入力し「リストに追加」をクリックします。



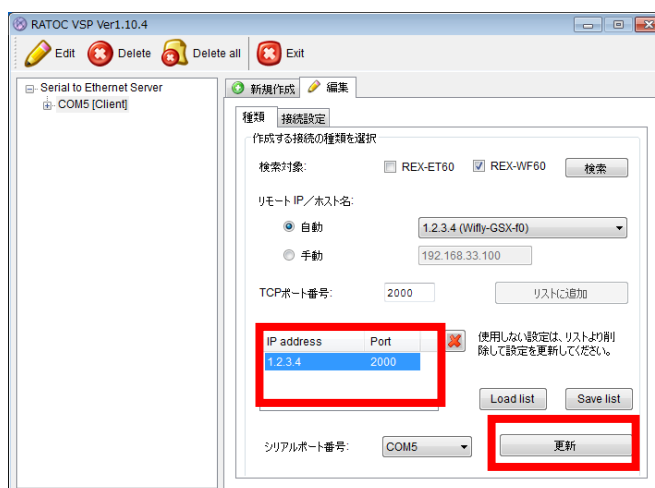
2. 使用しない設定はリストより削除します。

(リスト内には1つのIPアドレスでの運用を推奨します。)



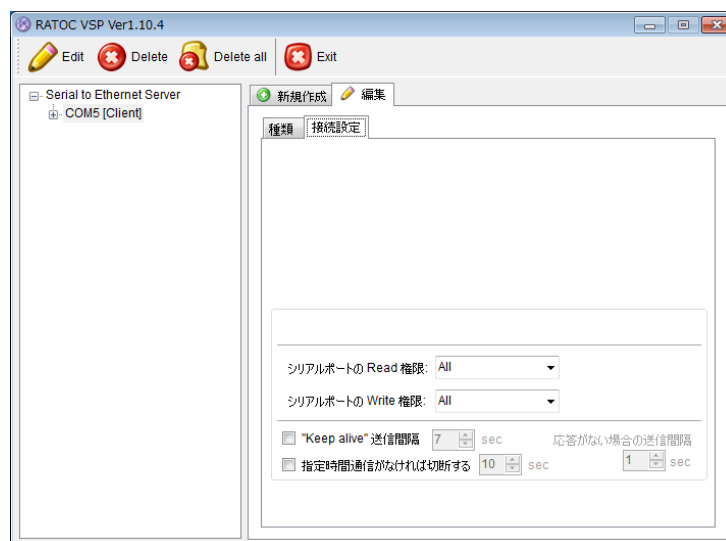
3. 「更新」をクリックすると変更した内容に更新されます。

(シリアルポート番号を変更する場合は、COM ポート番号も変更した後に「更新」をクリックします。)



(4) その他の機能

RATOC VSP の[接続設定]の機能について説明します。



[シリアルポートの Read 権限]

- All -- 同一の COM ポート番号に複数の IP アドレスがリスト登録されている場合、すべての製品でデータ受信します。
- None -- 同一の COM ポート番号に複数の IP アドレスがリスト登録されている場合、すべての製品がデータ受信しません。
- Only first -- 同一の COM ポート番号に複数の IP アドレスがリスト登録されている場合、リストの一番上に登録されている製品のみデータ受信します。

[シリアルポートの Write 権限]

- All -- 同一の COM ポート番号に複数の IP アドレスがリスト登録されている場合、すべての製品でデータ送信します。
- None -- 同一の COM ポート番号に複数の IP アドレスがリスト登録されている場合、すべての製品がデータ送信しません。
- Only first -- 同一の COM ポート番号に複数の IP アドレスがリスト登録されている場合、リストの一番上に登録されている製品のみデータ送信します。

[“Keep alive”送信間隔] -- ”Keep alive”パケットの送信間隔を指定します。

[応答がない場合の間隔] -- “Keep alive”パケットに対して応答がない場合に、指定した時間間隔で“Keep alive”パケットを送信します。

[指定時間通信がなければ切断する] -- 指定時間”Keep alive”パケット送信に対する応答がない場合に、“Keep alive”パケットの送信を停止します。

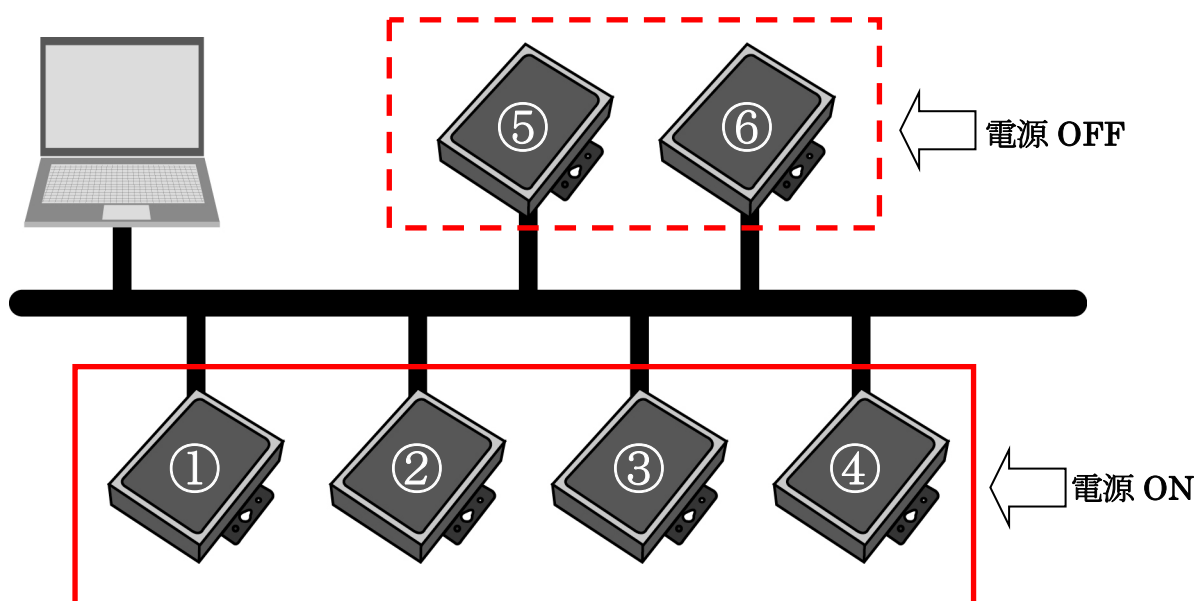
巻末 Appendix

■ 5 台以上接続時の COM ポート設定方法

同一ネットワークに本製品が 5 台以上接続している場合、RATOC VSP では検出できる台数が 4 台までとなっておりますので、未検出となった製品を手動で設定するか、または以下の様に設定する必要があります。
(REX-ET60 が 6 台接続時を例に説明します。)

■ 自動検索で設定する場合

4 台分(①~④)の電源を ON にし、RATOC VSP で検出・設定します。



次に、設定済みの①~④の電源を OFF にし、RATOC VSP で検出・設定します。

